

第 32 回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成 30 年 1 月 20 日（土）、ゆうちょ財団主催の「第 32 回 知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が、名古屋市において開催されました。

今回の講座のテーマは、「親も子も不安なく暮らすためにライフプランを考えよう」で、講師は石川智氏（障がいのある人とご家族のライフプランを考える会会長／ファイナンシャルプランナー）が務めました。

障がいのある人のライフプランを考える場合、障がいのある子が自立するかどうか不透明のことが多く、長く親子の世帯で暮らす可能性もあり、その結果、子の自立と親の終活が同時に課題となることもあります。

具体的に言うと、子が自分だけで経済的備えができるかどうか分からない、親が定年退職等になると子への経済的支援をするのは難しい、子への経済的支援にばかり関心があると、親自身の終活がおろそかになるかもしれないということです。

今回の講座では、このライフプランを考える際の課題とその対策について、具体的な事例を交えてお話しいただきました。

講師が強調したのは、子のライフプランが実現できても、それが親の犠牲の上に成り立つのは間違いで、まずは親の老後資金を確実に準備することが重要であるということです。

親がまず自分が感じているお金の不安を確かめ、それと向き合い、確実に対策を立てることで、親も子も不安なく暮らすことになります。

また、「障がいのある子が不安なく暮らせるには、いくら貯金があればいいのか」という質問をよくいただきますが、子の就業状況や居住環境などの具体的事例を基に、必要な貯金額の算定方法についても話していただき、参加者からは「具体的な事例を基にした資料は大変参考になる」という意見をいただきました。



次回の金融教育支援員セミナーは、平成 30 年 3 月 17 日（土）に鹿児島市で開催します。多くの方の参加をお待ちしています。